議会だより
とくのしま
第216号
令和６年８月１日

発行：徳之島町議会　編集：議会広報編集委員会　〒 891-7192　鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997（82）１１３０　FAX 0997（82）１１０１

県議会へ亀徳港の整備に関する要望（令和６年５月 15 日）

第２回定例会　6月 11 日～ 14 日

☆一般質問（12 氏登壇）　P ８～ 14
☆新議会構成・審議された案件と議決結果　P14 ～ 15
☆議会の動き・編集後記　P16

いっぱん質問

６月定例会には、12人の議員が登壇し、奄美群島振興開発特別措置法、子育て支援、農業振興、町道・農道整備、観光・環境に関すること、元気度アップ事業など町政全般にわたり執行部の考えをただしました。　質問と答弁の要旨は次のとおりです。

改正奄振法のポイントは

福岡　兵八郎　議員

問　奄美発展へのアキレス腱である奄振法の延長は大変喜ばしい事。群民ニーズの高度化、多様化の中で課題は益々山積している。新しく追加された内容は。

十二市町村提案が実現した

答　高岡町長　目的に、移住及び定住が記載され、基本理念に自然的、社会的及び文化的に密接な関連がある沖縄との連携が追加された。さらに農業の振興、教育及び文化に関する事業等が追加・変更になったことは大きな意味を持つ。

※みどりの食料システム戦略の今後は

問　国の定めた14項目の中で成長戦略ビジョンに幅広く示されているが、今後の5年計画について伺う。

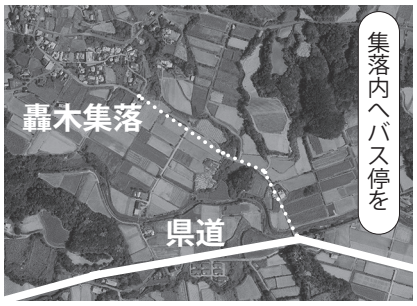
指標の5年後目標値は

答　高城農林水産課長　令和5年県と43市町村が共同で環境負荷低減事業活動の促進に関する計画が策定され、概ね5年後の目標として化学農薬使用量10％減、化学肥料使用量20％減、有機農業取組2000㌶、その内JAS認証取得割合90％と具体的に示された。

【みどりの食料システム戦略】持続可能な社会の実現に向けて、食料生産から消費までの全ての過程における環境負荷を低減し、循環型の食料システムを構築するための包括的な戦略。

公共交通バス線路改善

問　轟木は、バス停のある万田橋から集落まで約1㎞あり、交通手段のない方々は徒歩で行き来をしている。今後、運転免許証返納者が増えバス利用のニーズは高まる。バスも小型化してきており集落内をバス路線に入れてもらえないか。



公共交通計画を策定し検討

答　中島企画課長　轟木集落内には、バスが停車した際に追い越しや離合が出来ない等、安全な運行が確保できていない状況。今年度徳之島全域の公共交通計画を策定し、道の駅「とくのしま」を拠点とした集落内等の自家用有償旅客運送などの検討を進めていく。

トイレを和式から洋式へ

富田　良一　議員

問　亀津児童公園は利用頻度が高いと思うが、和式トイレを洋式に変えることはできないか。

汚れが目立つ和式トイレ

2ケ所を洋式へ

答　村上総務課長　児童公園内の男女トイレそれぞれ1ケ所を洋式化するため、6月補正予算に費用を計上している。その他にトイレの扉とトイレ用ベビーチェアーの修繕も行う予定。

定例会の様子をインターネットでご覧いただけます。

徳之島町公式ウェブサイト「議会中継（https://www.tokunoshima-town.org/gikaijimukyoku/chose/gikai/chuke.html）」にアクセスしてご覧ください。（※回線の状況により繋がりにくい場合があります。）

公社化にする２施設の理由は

徳田　進　議員

問 ＴＭＲセンターと堆肥センターの現在の運営と組織や管理全体の状況は。

利用者への通常提供を待つ２施設

公益性の強い施設

答 高城農林水産課長
ＴＭＲセンターは平成30年度には年間目標を達成しているが、受委託作業や受精卵センターの管理運営により経営が維持されている。堆肥センターは、現在の組織による経営が困難と判断した事から本年度より町直営により管理運営し、経営の改善を図る。

議会傍聴について

次回の定例会は９月です。皆さんで議会を傍聴してみませんか。町役場５階の議場へお越しください。

信号機のない横断歩道の安全対策は

宮之原　剛　議員

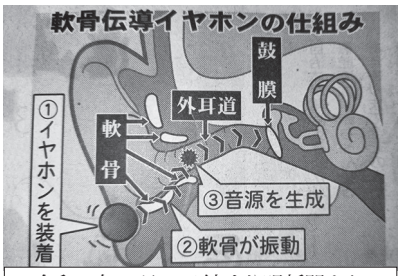
問 4月に16㍍道路で交通死亡事故が発生した。沿道の樹木で見通しが悪く、信号機のない横断歩道周辺の刈り込み、または樹木の撤去等、安全対策ができないか。

県工事受注者による地域貢献

答 作城建設課長
16㍍道路の信号機がない役場海側、とくのしま漁協、ＨｏｔｔｏＭｏｔｔｏ前の横断歩道付近植樹帯については、県道舗装工事受注者による地域貢献で、横断歩道前後５㍍を刈り込み予定。

窓口に軟骨伝導イヤホンの設置を

問 耳の聞こえづらい来庁者のために、全国で導入が進んでいる、意思疎通がスムーズにできる軟骨伝導イヤホンを、役場窓口に導入設置ができないか。



令和６年４月５日付け公明新聞より

試験的に導入を検討

答 廣介護福祉課長
窓口への来庁者が特に多い２階各課の必要状況の確認と他市町村の導入状況を見ながら、財政担当とも協議の上、試験的な導入を検討したい。

男性育児休暇取得の向上で子育て支援を

問 男性の家事労働比率が低いと人口減少につながる。子育てしやすい職場環境作りのためにも、役場男性職員の育児休暇取得を推進する対策は。

制度を活用できる職場環境づくり

答 村上総務課長
申し出があった場合には、男性育児休業制度の周知と休業の取得の意向を個別に確認し、誰もがこの制度を活用できるような職場環境づくりに努める。

その他の質問

○亀徳新港前の記念植樹帯整備計画（亀徳新港周辺整備事業）について

広報紙アプリ『マチイロ』で議会だよりをご覧いただけます。

マチイロ

①スマホやタブレットでQRコードを読み込み、アプリ「マチイロ」（iOS、Android対応）をインストール
②「お住まいの地域」で「鹿児島県徳之島町」を登録
※右のQRコードからダウンロードしてご利用いただけます。

【iOS】　【Android】

「道の駅」の現状は

広田　勉　議員

問 3年間で1200万円の予算で管理運営策定・人材育成・収支予算書作成を進めてきている。今年開設だが、イメージが湧かない。食堂の規模や品揃え等、運営方法を伺う。

様々な分野での事業展開が必要

答 高岡町長
離島における道の駅の運営は、本土と比較して厳しい運営になると思われる。島内外特産品等の販促並びに自然環境保全にも寄与する分野での事業に取り組み、交流人口増加についても提案することになる。

運営は地域住民

答 尚花徳支所長
食堂は43席で、島の食材を活用したメニューを開発し、提供。販売所では、地域の1次産品（野菜・果樹等）や加工品、工芸品等を販売予定。運営は、地域住民が主体となった民間事業者（社団法人）へ委託。

農業振興支援を

問 花徳は1次産業が盛んな地域だが、農道の舗装や耕地の土壌検査の項目を増やしたり、堆肥利用が、し易いなどの農業支援を手厚くできないか。

順次施工している

答 水野耕地課長
農道舗装の要望箇所を危険性・緊急性の高いものから施工している。

土壌診断の活用を

答 高城農林水産課長
花徳の高品質堆肥施設の有効利用の面からも中継基地として、検討したい。地域農業管理施設の土壌診断の項目については、利用農家に解りやすくするため、農地の処方箋として情報提供していく。

値上げの前に自助努力を

問 近く水道料金の値上げがある。6月から電気・ガス・食品・医療費等軒並み値上げの中で、他町より薬品（ポリ塩化アルミニウム・次亜塩素）を高く購入、不納欠損額も多い。値上げをする前に自助努力を。

他町より高く、納品個数未チェックの薬品

給水停止等徴収業務を強化

答 保久水道課長
公平性の観点から、給水停止等徴収業務の強化を図り、不納欠損額の減額に努めている。また、人口減少等の水需要の減少、管路・施設等の老朽化による更新等、水道事業経営環境は厳しさを増す事から、事業運営の効率化を図っていく。

海外語学留学事業の展望は

木原　良治　議員

問 令和5年度の実績、今年度の留学先、人数、日数及び今後の海外派遣の継続と展望、高校生への期待を問う。

海外語学留学事業（ニューヨーク市）

次世代を担う人材の育成

答 太学校教育課長
令和5年度は、町内の高校生5名がニューヨーク市に10日間滞在。本年度は、高校生3名が同市において、語学研修・生活体験・現地見学を実施。また、現地奄美会や町出身者との交流、職場見学などを計画。今後、就職や進学・資格取得等、参加者の活躍について追跡し、効果を検証していく。

子ども第三の居場所の概要は

問 B&G財団助成事業の「子ども第三の居場所」の開設予定日はいつか。また対象児童生徒数と定員及び特色と運営方式、理念、学校出席扱いの条件を問う。

子どもが安心して過ごせる居場所

答 太学校教育課長
開設は、令和7年4月の予定。対象児童生徒は令和5年度実績で約38名。定員は20名。安心・安全な環境の提供、自己成長の支援、地域連携を理念とし、学校教育課が主体となり、指導監など経験のあるスタッフを中心として運営する。学校の出席取り扱いについては、一定の要件の下、校長の判断による。

合計特殊出生率日本一

問 「子宝のまち徳之島町出生率日本一」の垂れ幕が新庁舎正面に輝いている。「子宝のまち」の出生数と独自の、出産・子育て支援事業と今後の出産祝い金の増額を伺う。

5年間の出生数

答 大山住民生活課長
出生数は、令和元年度80人、令和2年度90人、令和3年度81人、令和4年度95人、令和5年度93人。

単独の出産・子育て支援

答 吉田健康増進課長
本町では、マタニティクラス、ハイリスク妊産婦出産支援など、妊産婦が安心できるよう寄り添った対応を心掛けている。ハイリスク妊産婦出産については、前年度実績は12件の支援を行った。

ふるさと納税活用検討会で協議

答 廣介護福祉課長
出産祝い金の増額については、ふるさと納税活用検討会及び財政担当課とも協議する。

病院施設の支援を

是枝　孝太郎　議員

問 徳之島病院の現課題と、今後の医療体制、地方自治体の支援体制について伺う。

新規患者の受け入れ困難

答 村上総務課長
現在1名の精神科医師と他科医師1名で、入院・外来患者の診療を行っている。入院については医師不足により新規患者の受け入れが困難な状況であり、嘱託医の業務も全てを担っていることから現在常駐する医師の負担が大きい。

精神科医の確保が必須

答 高岡町長
離島においては、完結型医療体制の構築が必要である。精神科医が不在となると大きな負担。支援することにより最低2名の精神科医が確保でき、スムーズな診療、入院待機解消、南三島の医療が充実する。

※SOSネットワークを確実に

問 認知症行方不明者対策と支援について伺う。

事前登録が可能

答 廣介護福祉課長
認知症行方不明対策については、認知症に限らず、徘徊行方不明のリスクが高い方を対象に、事前登録が可能なSOSネットワークがあり、緊急時には関係機関と情報共有することが可能。

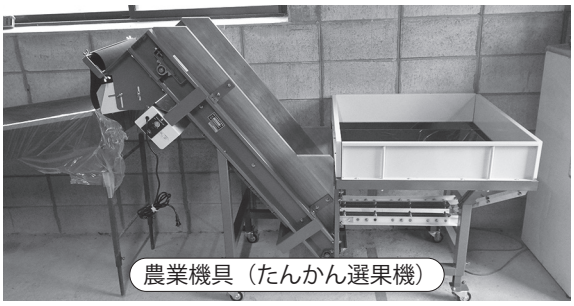
【SOSネットワーク】
行方不明者を、地域の生活関連団体等が協力して迅速に発見保護する体制。

基幹農作物にあった助成を

問 農機具の助成制度の拡充について伺う。

事業の精査を検討

答 高城農林水産課長
事業については、例年パンフレットを作成し、全戸配布、営農座談会等において概要説明、農家の意見等を聞いている。拡充については、予算を伴うため、内容を精査した上で検討したい。


農業機具（たんかん選果機）

子育てするなら徳之島町

竹山　成浩　議員

問 本町が、合計特殊出生率全国1位となった要因は何か。

家族で過ごす時間が裕福である

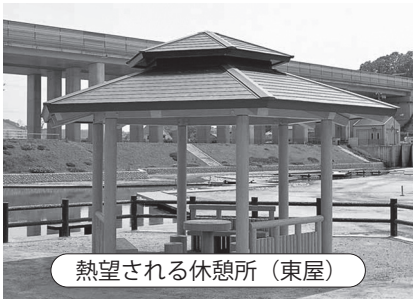
答 高岡町長
合計特殊出生率が日本一になったことは、大変誇りに思っている。要因については、地域が子育て環境に適していて、結いの精神があるからだと思う。また親子での時間や、家族皆で過ごす時間の裕福さが一番の要因ではないか。

地域ぐるみで支える子育て

答 廣介護福祉課長
本町の子育て支援策である保育所待機児童の解消、学童保育の充実、小規模保育所の開設、出産祝い金の支給なども一つの要因と考えられるが、地域ぐるみで子育てを支える産み育てやすい環境が一番の要因と考える。

母間新港をフラワーパークに

問 母間新港を公園として制定し、フラワーパークのような公園にできないか。また、子どもから高齢者まで利用頻度の高い多目的広場に、休憩施設（東屋）ができないか。


熱望される休憩所（東屋）

公園は国と協議 東屋は予算獲得

答 作城建設課長
フラワーパークについては、国に用途変更等の有無を協議し、費用対効果を算出したうえで検討する。休憩施設については、早期に予算を獲得し設置したい。

お土産店の設置を

問 亀徳新港に、美農里館の販売店（お土産品）を設置できないか、また酒類の販売は可能か伺う。

港内にお土産店の問合せあり

答 吉田おもてなし観光課長
1階店舗は、空きがない状況。観光客や乗船前の方々からの港内お土産店の問い合わせは多く、他店舗への協力等など進めて行けたらと思う。また、酒類販売が可能かについては県に問い合わせてみる。

その他の質問

○「子ども第三の居場所」在籍学校の出席扱いとしての条例化について

給食費を無料に

勇元　勝雄　議員

問 全国では28％の市区町村で給食費無料を実施している。本町でも子ども達への給食費を無料にする事はできないか。

給食を無料に

地域振興券を活用

答 高岡町長
地域振興券の発行により対処したい。「合計特殊出生率」が日本一となった今、親子で過ごす時間の確保、子供たちの健康づくり、グローバルな人材育成、生きる力を身につける。その他子育て事業にしっかり取り組むことが重要。

町道整備はいつ

問 内スーパーから海王寺までの町道整備について、亀徳在住の議員5名で要望書を提出したが、あと何年ぐらいで整備が完了するのか。

他事業と調整し整備

答 作城建設課長
内スーパー前と海王寺前の2箇所の改良については、先行実施中の他事業と調整をとり、追加補正予算を利用し、5年以内の整備完了を目指す。

輸送コスト対策を

内　博行　議員

問 子牛価格が低迷し、畜産農家の経営は非常に厳しい。奄振事業の奄美群島農林水産物等輸送コスト事業を活用し農家支援ができないか。

公益性を重視

答 高城農林水産課長
町の方針を直接運営に反映できること、町当局との連携や他の公共施設、施策等との連携を図りやすく、さらに必要な国・県の施策を講じる際、事業に対し、自己負担金を予算化できること。

奄振の対象拡充が必要

答 高城農林水産課長
奄振の輸送コスト支援事業の出荷及び生産支援については、品目指定等があり、畜産の肉用牛については、12ヶ月齢以上の成牛で出荷され60日以内に食肉として処理されるものを対象としているため、子牛出荷では支援の対象外となる。

公社化のメリットは

問 堆肥センターを公社化にするメリットを伺う。

公社化する堆肥センター

農道整備を

問 サトウキビ輸送には悪路など、雨天の影響を受けやすい農道がある。農道整備等対策が必要と考えるが。

輸送組合と協議しながら

答 水野耕地課長
輸送組合の要望箇所を確認し、輸送組合と協議し対応している。

議会に対する質問や意見、または議会だよりに対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。
【徳之島町議会事務局】☎ 0997-82-1130

観光地スポットの掘り起こしを

植木　厚吉　議員

問 今年12月の道の駅・自然遺産センター開設に伴い、観光スポットの花徳黒畦海岸に駐車場整備など、観光拠点施設から各集落への誘客を促す必要もあると考えるが。

楽しさを体感できる魅力あるスポット

答 吉田おもてなし観光課長
黒畦海岸には数千年前に海水の力で石灰岩が削られてできた珍しい隆起ポットホール群があり、その堆積物は町の天然記念物に指定されている。また、シラフェガマと呼ばれる洞窟や干潮時にはクムイ（潮溜まり）で多くの生き物を観察できる魅力あるスポットである。駐車場に適した土地や該当する事業があれば整備を検討したい。

河川の有効活用を

問 川遊び体験や、環境教育の場として、花徳万田川の環境整備はできないか。また、国の「かわまちづくり支援制度」等を活用した、地域連携型の集落づくりを推進してはどうか。

河川を有効活用した街づくり（イメージ）

学ぶための資料の教材化

答 福祉教育長
環境教育については非常に重要であり、学校では総合的な学習の時間等で行っている。本年度から新たに本町の歴史・自然・文化を学ぶ徳之島学などのプログラムを検討している。今後、各学校と連携しながら環境教育等の学びの充実を図っていく。

まずは地域の要望から

答 作城建設課長
「かわまちづくり支援制度」については、「かわまちづくり計画」の作成が必要となるため、地域の要望をもとに、推進主体をきめて、県と共同で、基本方針・目標・支援事業内容・推進体制・維持管理計画等を協議する。

環境保全対策を急げ

問 近年、外来種動植物や、特殊病害虫などが問題視されているが、現状はどうなっているか。また、昨年発生したシロアゴガエルの今後の対応策やソテツカイガラムシの予防対策は考えているか。

シロアゴガエルの現状と対策

答 吉田おもてなし観光課長
現状として、井之川、亀徳地域に広く生息しており、亀津北部、南原でも一部確認されている。６月時点で約40カ所で確認、関係機関と連携し駆除活動やモニタリング調査等を継続して行う。

初動対応が重要

答 高城農林水産課長
現在、ソテツカイガラムシは、徳之島においては、確認されていないが、病害虫の蔓延防止には、初動対応が重要。注意喚起や周知をチラシや広報で行っていきたい。

施設使用料の負担を

政田　正武　議員

問 公民館講座の施設使用料は受講者が全額負担している。町民誰もが気軽に受講できるよう、自治公民館、学習センターの使用料を町で負担できないか。

現状を踏まえ今後検討

答 安田社会教育課長
公民館講座の施設使用料については、生涯学習の推進という点からも受講者の負担が大きくならないよう、受講者数の推移や他市町村の現状などを踏まえ、今後検討したい。

屋根付き休憩所は必要

問 母間新港内の遊具施設周辺には、休憩所がない。集落の幼児、保育園の園児、町外、その他多くの方が利用している。熱中症・健康被害防止のためにも、休憩所の設置ができないか。

ふるさと納税活用事業で再申請

答 廣介護福祉課長
母間保育所では月に２～３回の園外活動での利用。井之川へき地保育所等も遠足で利用しているが、夏場の活動は非常に厳しい。休憩所の設置については、ふるさと納税活用検討会へ再申請し検討する。

高齢者に元気と健康を

問 65才以上に付与されているポイントを、「元気度アップ事業」以外に、高齢者のふれあう場をもっと増やすためにも、事業拡充し、幅広く付与されるよう出来ないか、また50ポイントから100ポイントに拡大できないか。

ポイント事業の拡充拡大を検討

答 廣介護福祉課長

イベント開催主管課へ改めて制度案内するとともに事業委託先である社会福祉協議会と協議したい。ポイントの拡大については、県の補助金を活用、町単独費用の増など課題があるので、財政担当課と検討する。

元気な高齢者を

新しい議会構成が決まりました

6月11日、各常任委員会構成などを決定しました。

常任委員会構成

●総務文教厚生常任委員会

委員長　植木　厚吉
副委員長　宮之原　剛
委　員　大沢　章宏
福岡兵八郎
木原　良治
是枝孝太郎
竹山　成浩
政田　正武

●経済建設常任委員会

委員長　松田　太志
副委員長　内　博行
委　員　広田　勉
池山　富良
勇元　勝雄
富田　良一
徳田　進
行沢　弘栄

議会運営委員会

委員長　徳田　進
副委員長　植木　厚吉
委　員　松田　太志
宮之原　剛
内　博行

各種議員

●三ヵ町議会議員連絡協議会議員

行沢　弘栄
徳田　進
松田　太志
（監査）植木　厚吉

●議会だより編集委員会

委員長　政田　正武
副委員長　竹山　成浩
委　員　宮之原　剛
植木　厚吉
内　博行

令和６年第２回定例会（６月 11 日～ 14 日）議案・審議・議決結果①

議案番号	件　名	議員名（議席番号順）																議決結果
		内　博行	政田　正武	宮之原　剛	植木　厚吉	竹山　成浩	松田　太志	富田　良一	勇元　勝雄	徳田　進	池山　富良	是枝孝太郎	広田　勉	木原　良治	福岡兵八郎	大沢　章宏	行沢　弘栄	
第 51	徳之島町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決
第 52	徳之島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決
第 53	徳之島町過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
第 54	道の駅「とくのしま」の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
第 55	令和６年度水槽付消防ポンプ自動車購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
第 56	教育委員会教育長の任命について（福 宏人）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	同意
第 57	固定資産評価審査委員会委員の選任について (是枝 純一）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	同意
第 58	固定資産評価審査委員会委員の選任について（保岡 盛寿）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	同意

令和６年第２回定例会（６月 11 日～ 14 日）議案・審議・議決結果②

議案番号	件　名	議員名（議席番号順）																議決結果
		内博行	政田正武	宮之原剛	植木厚吉	竹山成浩	松田太志	富田良一	勇元勝雄	徳田進	池山富良	是枝孝太郎	広田勉	木原良治	福岡兵八郎	大沢章宏	行沢弘栄	
第 59	固定資産評価審査委員会委員の選任について（里内 吉司）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	同意
第 60	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	同意
第 61	令和６年度一般会計補正予算（第１号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決
第 62	令和６年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決
第 63	令和６年度介護保険事業特別会計補正予算（第１号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決
第 64	令和６年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決
第 65	令和６年度水道事業会計補正予算（第１号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決
第 66	令和６年度下水道事業会計補正予算（第１号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決
報告 1	継続費について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	
報告 2	繰越明許費について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	
報告 3	事故繰越費について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	
報告 4	繰越明許費について（水道事業）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	
報告 5	事故繰越費について（水道事業）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	
諮問 1	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	同意
	選挙管理委員及び同補充員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	同意
陳情 4	義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2025 年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	採択
陳情 5	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025 年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	採択
発議 3	義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決
発議 4	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	原案可決

【表の見方】○：賛成　×：反対　欠：欠席　―：表決権なし

※行沢弘栄議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案に就いては表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

議会の動き

4月
- 7日　戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭
- 11日　土地贈呈式
- 12日　令和６年度徳之島町小・中学校転入教職員宣誓式及び研修会
- 16日　令和６年度徳之島地域農業総合対策推進協議会総会
- 17日　第61回富山丸戦没者慰霊祭
- 21日　令和６年度在鹿徳之島郷友会総会
- 23日　第65回奄美群島市町村議会議員大会（大和村）
- 25日　徳之島町海開き
- 26日　令和６年度県市町村連携会議
- 28日　奄美群島広域事務組合臨時議会（奄美市）
- 30日　奄美群島航路対策協議会（奄美市）
- 31日　奄美群島大島紬振興対策協議会（奄美市）
- 奄美群島地域産業振興基金協会評議員会（奄美市）
- 令和６年度シルバー人材センター定時総会
- 第34回合同金婚式

5月
- 1日　小里首相補佐官来島視察
- 8日　議長研修会（鹿児島市）
- 9日　鹿児島県離島振興町村議会議長会臨時総会（鹿児島市）
- 鹿児島県町村議会議員研修会（鹿児島市）
- 12日　徳之島町地域女性連絡協議会（運動会）
- 15日　鹿児島県議会総合政策建設委員会行政視察
- 21日　議長・副議長研修会（東京都）
- 24日　関東徳州会決算報告会
- 第52回徳之島建設業協会通常総会

6月
- 6日　議会運営委員会
- 11日　第２回定例会開会
- 14日　子ども第三の居場所助成決定授与式
- 第２回定例会閉会
- 20日　第１回広報編集委員会
- 21日　第37回トライアスロンＩＮ徳之島大会(カーボパーティー)
- 23日　第37回トライアスロンＩＮ徳之島大会
- 28日　第２回広報編集委員会
- 30日　第46回県消防協会大島支部消防操法大会

7月
- 4日　第３回広報編集委員会

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

さて、厚生労働省が全国の市町村別にまとめた、「出生率」で、本町が、「合計特殊出生率」日本一に輝きました。

昔から、「くぁーどぅ、宝」（子どもこそが宝）と、良く言われてきましたが、島では、「親、兄弟、親戚、知人・友人」など、人とひと、人と地域が密接に関わり合い、地域全体で子育てを支援していくという文化もあり、子育てしやすい環境にあること、また、「出産祝い金」など、子育て支援のサポートがあることも、要因の一つだと思います。

しかしながら、「くぁーどぅ、宝」、「赤ちゃんが欲しい」・「子どもが大好き」・「子どもを愛している」、と想う優しい心を持った、素敵なお父さん・お母さんが、本町には多くいるということが、日本一となった、一番の要因ではないでしょうか。

少子高齢化社会の中で、本町は、「出生率日本一」となりましたが、高校卒業後、ほとんどの生徒が島を離れていきます。今後は、子どもたちの未来への投資、教育への投資を行い、子どもたちが、いろんな分野で高度なスキルを身につけ、「いつかは島に帰り、島のために貢献したい」、と思えるような「魅力あるまちづくり」の施策も必要です。また、そのような施策が、人口減少に、歯止めをかけることにも繋がっていくと思います。

「保育園、幼稚園、小・中・高・大学」と、子育ては続きます。

子育て世代の経済的な負担軽減など、様々な子育て支援の施策の提案、子育てしやすいような環境の整備、お父さん・お母さん・子どもたち家族全員が、笑顔で安心して過ごせるような町を築いていくことが、私たち議員に課された責務だと考えています。

これからも、徳之島町議会一丸となって、より良い「まちづくり」に取り組んでまいります。

文責　政田　正武

議会だより編集委員